

2026年3月吉日

お客様各位

共和ハーモテック株式会社
代表取締役社長 小柿 裕治

「河川用碎石かご」開発および販売開始について

記

共和ハーモテック株式会社は、日鉄建材株式会社と共同で、河川護岸への適用を可能とした新製品「河川用碎石かご」の開発・販売を開始いたしました。

従来よりかご工の中詰材には割栗石（150～200 mm）が広く用いられていますが、近年では、施工現場における省人化・省力化への要望が高まっており、中詰作業の効率化に資するため単粒度碎石を使用するなど、多様な選択肢が求められています。しかしながら、河川分野においては、適用流速が中詰材の粒径等に左右されるため、単粒度碎石を用いたかご工は河川護岸への適用に制約がありました。

こうした背景を踏まえ、当社と日鉄建材株式会社は、小粒径の単粒度碎石を用いながらも河川条件下での適用を可能とする構造を開発し、「河川用碎石かご」として製品化いたしました。本製品は、かご工構造の最適化により耐流速性能および高い施工性を兼ね備えた製品となります。

本製品の主な特長は以下のとおりです。

- ・小粒径の中詰材を用いたかご工でありながら、河川護岸への適用が可能
- ・中詰作業の省力化により、従来工法(かごマット工)に比べ、施工性が大幅に改善
- ・単粒度碎石の使用が可能のため、材料調達が容易

近年、激甚化する気象災害への対策が急務となるなか、本製品は「施工性」と「耐流速性能」の両立により、河川改修事業のスピードアップを実現します。当社は今後、全国の河川護岸現場への積極的な提案を進め、次世代の河川工法のスタンダードを目指してまいります。

以上